

セキュリティリサイクル研究所

文書管理で注意喚起

金融検査結果をサイトで紹介

セキュリティリサイクル研究所は、6月15日から「金融検査結果事例集」の文書管理に関する指摘要因と指摘事項を抽出して分かりやすく要約し、Webサイトで公開を始めた。「同事例集」は、金融庁検査局が年2回公開している。

同社は96年の設立以降、機密文書の保管や文書管理のコンサルテーションを金融機関に提供している。Web上で公開するのは、①台帳管理の不備②個人情報の管理態勢③文書管理状況の把握不足④文書管理ルールの徹底⑤外部委託先の管理――の5項目で、合わせて30の事例

を掲載。

例えば、「個人情報」が記載された書類が閉店後の事務所スペースに放置されていた」という金融庁の検査結果に対し、「金庫室や文書庫スペースの不要な文書を廃棄する」などと指摘された要件ごとに同社がアドバイスを添えて注意喚起している。

今回は、06年度から最新の「金融検査結果事例集」までを掲載。今後も継続的に更新していく予定。